



# 畜産研通信

平成27年度第1号

岐阜県畜産研究所では「県民に対する安全・安心・健康な畜産物の提供と岐阜県畜産ブランド製品の振興」を最重点課題として位置づけ、関係機関と緊密な連携をとり、1. 生産性向上のための家畜の育種改良の推進、2. 畜産新技術の開発、3. 畜産環境改善を中心とした研究開発に取組み、その成果を踏まえた技術支援により県内畜産業の振興を図ります。

平成27年度は次の研究を実施します。

## 1 生産性向上のための家畜の育種改良の推進

- ・肉質評価技術の確立と飛騨牛らしさ追求による品質向上【飛騨牛研究部】
- ・既存の育種技術にDNA情報を組み込んだ新たな改良手法の実用化研究【飛騨牛研究部】
- ・飛騨牛の生産性を高める遺伝的手法の開発【飛騨牛研究部】 **NEW**
- ・性選別精液を活用した乳用牛雌受精卵の大量生産技術の確立に関する研究【酪農研究部】
- ・DNA情報を活用した大ヨークシャー種の繁殖能力と肉質改良に関する研究【養豚・養鶏研究部】
- ・高能力種豚集団の維持増殖に関する研究【養豚・養鶏研究部】
- ・ゲノム情報を活用した家畜の革新的な育種・繁殖・疾病予防技術の開発【養豚・養鶏研究部】
- ・ゲノム情報を活用した改良型肉用奥美濃古地鶏の開発研究【養豚・養鶏研究部】
- ・高能力な肉用奥美濃古地鶏原種鶏群の改良研究【養豚・養鶏研究部】
- ・継続的な「奥美濃古地鶏」生産のための新たな雄系の作出【養豚・養鶏研究部】 **NEW**

## 2 畜産新技術の開発

- ・受精卵遺伝子診断技術及び受精卵の新規凍結技術の開発【飛騨牛研究部】
- ・和牛子牛の初期発育改善のための育成管理技術の確立【飛騨牛研究部】
- ・黒毛和種肥育牛における岐阜県版飼料用米給与技術の確立【飛騨牛研究部】 **NEW**
- ・遺伝情報と血中タンパク質を指標とした黒毛和種の肥育新技術の開発【飛騨牛研究部】
- ・ルーメン発酵の健全化による生産性向上に関する研究【酪農研究部】 **NEW**
- ・乳牛における分娩後の早期繁殖性回復を促す飼養管理技術に関する研究【酪農研究部】 **NEW**
- ・高糖分飼料稲「たちすずか」の消化特性と乳牛への給与に関する研究【酪農研究部】
- ・飼料分析データ等を活用した自給飼料の品質向上に関する研究【酪農研究部】 **NEW**
- ・農耕地等における除草剤適応性研究【酪農研究部】
- ・海外展開を目指した良質豚肉生産技術の開発と豚肉加工品目の育成【養豚・養鶏研究部】 **NEW**
- ・採卵鶏及び特殊卵用鶏における飼料用米給与方法の確立・普及【養豚・養鶏研究部】
- ・飼料用米給与で淡色化する卵黄色改善のための飼料給与手法の検討【養豚・養鶏研究部】 **NEW**

## 3 畜産環境改善

- ・豚への飼料米給与による低コストな環境負荷低減・差別化豚肉生産技術の開発～低タンパ

- ク・高繊維配合飼料による糞尿中窒素排出量低減技術の開発～【養豚・養鶏研究部】
- ・アンモニアリサイクラー回収硫酸液を利用した高付加価値液肥製造技術の開発【養豚・養鶏研究部】

家畜改良ならびに種畜供給のためつぎの事業を実施します。

#### 飛騨牛改良事業【飛騨牛研究部】

造成された優秀な種雄牛の凍結精液を製造・販売するとともに、有効利用のための技術支援を行う。また、安福系雌牛の系統繁殖を実施し、その中から高能力種雄牛や雌牛の生産を行うこと等により、飛騨牛ブランドの維持発展に資する。

#### 飛騨牛産肉能力検定事業【飛騨牛研究部】

飛騨牛ブランドを支える高能力種雄牛を造成するため、種雄牛候補牛の産肉能力検定を行う。

#### 家畜性判別胚供給事業【酪農研究部】

畜産研究所内の高能力乳用牛から採取し、雌雄判別した雌胚を譲渡する。県内農家の乳用牛から採取された牛胚を性判別する。

#### 家畜人工授精事業【養豚・養鶏研究部】

養豚農家の経営安定を図るため、優良種雄豚の人工授精用精液を生産し、希望農家へ有償譲渡する。

#### お知らせ 飼料分析データの利用促進について【酪農研究部】

酪農研究部では5月25日(月)、飼料分析促進会議を開催し、県内自給飼料の分析結果や分析依頼の増えた飼料用米の栄養価について報告を行いました。

自給飼料ではトウモロコシや飼料用稲の成分は安定している一方、イネ科牧草については成分にばらつきが認められることから、飼料分析により成分値を把握することが望まれています。飼料価値を正確に把握して効率的な飼料給与を行うことは酪農及び肉用牛経営等の安定を図る上でとても重要です。

最近、新たな飼料用稲として全国的に注目を集めている籾の少ない飼料用稲「たちあやか」、「たちすずか」の分析依頼が増えてきています。このような新たな飼料についても近赤外分析装置を活用して迅速な成分測定に取り組みますので、飼料生産技術および飼料給与技術の向上にご活用ください。

飼料成分(一般成分、ADF、NDF、ミネラル、硝酸態窒素)分析(手数料1,300円/試料)  
β-カロテン含量測定(手数料1,300円/試料)

なお、分析結果は受付日から概ね1週間でお知らせします。

畜産研究所ホームページ <http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1  
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615  
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養豚・養鶏研究部 505-0037 美濃加茂市前平町 3-8  
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏・養鶏研究部 関試験地 501-3924 関市迫間 2672-1  
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp